

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	天竜川の水辺から賑わい創出事業
事業主体 (連絡先)	天竜川かわまちづくり協議会 (高森町役場 建設課) 0265-35-9407
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,603,515 円

事業内容

- ・山吹天伯峡ほたる祭りでのかわまちづくり周知活動
- ・天竜川を遊びつくせ!~水辺からみつける地域の未来~
高森町が毎年開催している「全日本カヌー競技大会」にあわせて、地域住民の方に、天竜川を使って楽しく・安全に遊んでもらうためのイベントを実施。
- ・川辺で野外映画鑑賞会
台風19号の影響で急遽会場を変更して開催。川辺についてのアンケート・聞き取りを行い、映画鑑賞会を実施した。



【SUP・ラフティング体験の様子】

【目標・ねらい】

事業効果

①イベントなどを通じた周知活動の結果、かわまちづくりの拠点となる山吹下平地区からは説明会の要請があり、地元住民の関心を高めることができました。高森中学校3年生からも、かわまちづくりについて考え、文化祭・町収穫祭での発表を行って頂いた。事業実施前に比べ、多くの方にかわまちづくりの事を知ってもらうことができました。

②かわまちづくりが、多くの皆さんの望むものとなるために、どのイベントでもアンケートを行いニーズを調査してきた。調査の結果様々な意見が回収できたが、年齢層関係なく多くの意見が出たのは「安心・安全に水遊びできる場所」を求めているということが分かった。

- ①かわまちづくりの計画を多くの地域住民に知ってもらう
- ②川や水辺に関するニーズの調査

※自己評価【 B 】

【理由】事業効果に記載した通り、多くの方にかわまちづくりを知っていただくことができ、ニーズも調査することもできたため目標は達成できた。多くの方に興味は持って頂けたが「この事業と一緒にやっていきたい!」といった方を見つけることができなかった。

今後の取り組み

今回の事業を通じて、普段目を向けてこなかった川の存在に注目を集める事ができました。また、高森町では2027年の長野国体においてカヌー競技の開催地として内定を頂いており、更なる川や水辺への注目が期待されます。これからも継続的なイベント・社会実験・周知活動を行い、段階的な計画実現を目指していきます。①事業を継続、発展させていくためには、より多くの『利用者』と運営に参加する『事業者』となる核の創出が重要であり、国体後の利用もにらみ国体前から取り組んでいきます。②従来河川区域として管理され、地域住民・事業者の利用はされてこなかったエリアを活かし、新たに人を呼び込むためには、事業の段階にマッチした体験機会となる社会実験を、順次展開していきます。③社会実験等の積み重ねにより、住民や事業者の川の利活用への意識啓発を進め、かわまちづくり実現の気運を高めるとともに、運営に参加する団体の設立につなげます。④国体開催との兼ね合いから、競技場整備にかけるかわまちづくり事業計画と、国体終了後の構想の実現に向けた整備に区分し、地域一帯の整備を目指します。